

米からプラスチックへ。

米の香りがする「米から出来た袋」をご存知ですか？

注目される、環境に優しい

「バイオマスプラスチック」。



※バイオマスとは・・・？

一般的には「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を除いたもの」。種類には、①廃棄物系バイオマス、②未利用バイオマス、③資源作物（エネルギーや製品の製造を目的に栽培される植物）があります。

植物を原料にプラスチックが出来ることをご存知ですか？

一般のプラスチックは石油から作られますが、「バイオマスプラスチック」は※バイオマス（有機性資源）を原料として作られるプラスチックで、主にトウモロコシなどの植物が原料に用いられています。石油の替わりに植物由来の原料を使うことで、石油の消費を減らすだけでなく、新しい産業を起こして地産地消に繋げ、地域産業の活性化にも期待されています。

中でも、日本の独自技術として株式会社バイオマステクノロジーズ社（東京都）がお米を使ったバイオマスプラスチックを商品化しています。このお米を使ったプラスチックは、『阿蘇市バイオマスタウン構想』の中で資源の利活用策の一つとして掲げています。

農山漁村における新産業創出の観点からも注目！

阿蘇市では、宮地の田中泰次郎さん（阿蘇たいちやん農場代表）がいち早く取り組み、阿蘇で作ったお米からプラスチックの袋を製作し、その袋に阿蘇米を入れて販売されています。（上写真）

「米の香りがして肌触りがとてもいいー」と購入者アンケートは上々。田中さんは、「阿蘇は農業従事者の高齢化が深刻。後継者が収益に希望が持てる産業（市場）の創造が必要」と語られ、お米を使ったプラスチックの良さを広く知っていただくため、11月に東京で開催された「食と農林漁業の祭典」（農林水産省主催）にも参加されています。

お米のプラスチックは いろいろと利用されています！

■買い物袋として阿蘇市内のお店でも使用

お米のプラスチック袋は、門前町などの商店で利用されエコ活動が展開されています。

■赤ちゃんのおもちゃに最適

なめても安心なお米プラスチックは幼児の玩具としても人気が出ています。

■ごみ減量に取り組む新潟県下の自治体ではごみ袋や、学校給食のトレーとしても使われています。

